

情報機器を活用した読み支援 ～視覚障害・精神障害・発達障害への電子図書活用～

視覚障害者の情報機器利用状況調査と 訓練プログラムの開発(平成17～19年度)

国リハほか国立更生援護施設5施設(函館、塩原、神戸、福岡)の理療教育課程(以下、理教)在生を対象とした調査の結果、

- 1) 学習補助機器の使用率は拡大読書器32.3%、パソコン36.9%、DAISY再生機47.3%であった
- 2) 学習補助機器の使用パターンは46通りであった
- 3) 9割以上が目の疲労を訴えた
→ 15時間からなるパソコン訓練プログラムを開発し試行
→ 技能の定着、学習意欲の向上を実証
→ 国立塩原視力障害センターでは新規入生に開発した集中訓練を実施(平成20,21年度)



北海道浦河町における災害避難訓練マニュアルの開発と地域変革 (平成17～20年度)

北海道浦河町役場、(社)べてるの家の精神障害者、自治会と共同して、災害避難マニュアルDAISY版作成・防災学習会、避難訓練を実施

- 1) 平成20年度からは、べてるの家が主体となり、厚生労働省の助成金を得て、災害避難マニュアルDAISY版作成、防災学習会、避難訓練を継続
- 2) 浦河町民とべてるの家メンバーとの接点が増え、災害避難時における共通困難が意識化された



発達障害児(者)・車椅子利用者と支援者に電子図書と情報技術を紹介 (平成18～20年度)



電子図書やスクリーンリーダーソフトが、ディスレクシアや発達障害児(者)の教科書、読書、メール、作文の読み直しのほか、失語症や上肢障害者への有効性を検証中



国内外の実用例

- ・国内すべての公立図書館にはDAISY録音図書目録が配布されています(2000)
- ・ないふネットで点字・録音資料の検索と配信がされています(携帯電話からも利用可能) naiiv.gr.jp
- ・米国の初等・中等教育教科書はNIMACからDAISY規格で電子化され配布されることになりました(2006.12)
- ・義務教育教科書の著作権が制限されて電子化が無許諾になり(2008.9)、新著作権法の施行(2010.1)により、ネットワークを活用した提供も可能になります。
- ・ワード・ファイルを自動DAISY変換するソフトがマイクロソフトから無償で配布が開始されました(2008.5, 12)



DAISYコンソーシアムは、少数民族、文字文化のない民族などへの情報格差の解消に貢献に対して、ITU(国際電気通信連合)の世界電気通信情報社会賞を受賞しました(2008.5.)。

<http://au.youtube.com/watch?v=zERQTS4N0pk&feature=user>

研究代表者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部 河村宏, 北村弥生, 我澤賢之
hkawa@attglobal.net, kitamura-yayoi@rehab.go.jp, gasawa-kenji@rehab.go.jp

